

【23_055思考系メルマガ】値動きに「理由」を求めない

〇〇さん

こんにちは、クロです。

日頃から、『相場の動きは基本的にランダムであると認識する事(＝相場の不確実性)』を前提として

トレードする僕らが『型の基準に沿ってトレードする事』を意識するように言っています。

これは、メルマガを書き始めた頃から言葉を変えつつ、何度も言及してきたことでもあるのですが時折、このように有難いDMを頂いたりします。

▼あるフォロワーさんからのDM▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2023-02-15.png

このコメントを頂いた時、僕はパッといつ書いたメルマガの話だったかを思い出せなかったですが「確かにこれは常々意識しているし、メルマガでも書いていたはずだな」と思いつつつくづくその考え方の重要性を繰り返し実感しています。



値動きに理由を求める時点で、相場をコントロールしようとしている

何度もしつこいようですが、見えない右端から先の値動きというのは

どんな分析技術を用いたとしても、前もって予見する事はできません。

ということは逆に、自分が決めた『基準・規則』に沿ってトレードする事のみが正解であり

その結果もたらされるものは、利確でもあるし、損切りでもあると理解しないといけないわけです。

このDMを送って下さった方が考えた事というのは(僕の推測も入っていますが)相場の値動きに対して、過度に理由を求め過ぎると

その先行う分析に独りよがりなバイアスがかかってしまい「こうなるはずなのに、なんでそうなった!？」と

自分の想定(というか、もはやこれは“期待”ですね)と違う値動きに困惑する事になってしまいます。

相場を分析するというのは、「値動きを先読みする」ものではなく

『自分の基準に沿ったエントリーの根拠が揃ったか(事実確認)』を確認するための作業なのです。

ここを履き違えてしまうと、いつまでも自分のトレードを一貫させることができないばかりか

元々できるはずのない「値動きの先読み⇒当たらない」を繰り返し、いつまでも基準とする分析技術が定着せず

行き着く先は「聖杯探し(手法ジプシー)」になってしまうわけです。

僕がメルマガで、「こうやると良いですよ」という手法的な話を全然せずに、考え方の話ばかりをテーマにするのも

別に自分の手の内を隠したいからでは決してなく、どんなやり方でも構わないから『基準を定めてそれに沿った一貫性のあるトレード』をやっていないと

いつまでも、安定的に稼ぐトレードに行き着かないからなのです。

むしろ、手法的なものを教えてくれるのかと期待してメルマガを読み始めたであろう人は、とっくに期待はずれだと思って購読を辞めていることでしょうが(笑)

僕の一連の文章を繰り返し読んでくれている皆さんの中でそろそろ

トレードにおいて重要なのは『方法論よりも考え方にある』ということを肌感覚で理解し始めているのではないかと思います。

基準を持ってトレードする習慣がついてしまえば、ポジションを取った後になって利確・損切りの場所で迷うということも無いでしょう。

(元より、それらは決まっていて、覚悟してエントリーしたはずです)

先の値動きがどうなるかは決して分からないわけで、目線通りに推移すれば利確できるし
違ったなら損切りして次に備えるだけです。

もしそれで、トータルの利回りがプラスにならないなら、問題点を洗い出して細部を潰していく。

『型』を作り、それを根気強くブラッシュアップするという習慣が定着しさえすれば
必ずどこかのタイミングで勝てるようになってきます。

それはいつなのか？早いかな遅いかは、もちろん個人差がありますが

僕はその中でもかなり遅い方だと思います。それでも、諦めずに取り組み続けたというだけのこと
です。

値動きに理由を(過度に)求めない。他人と比べない。自分の中の“軸”を立てる意識で型を作
る。

この意識を持って、今自分がクリアすべき課題を考えてみましょう。

「他人と比べない」という話も、いずれまたメルマガのテーマとして書いて行こうと思います。